

# 二人の鬼才が放つ、新フィガロの結婚。～庭師は見た!～

Conductor, General Director : Michiyoshi Inoue

## 井上道義 (指揮・総監督)



1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。ニュージーランド国立響首席客演指揮者、新日本フィル音楽監督、京都市響音楽監督兼常任指揮者を経て、2007年、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督、ならびに石川県立音楽堂アーティストック・アドバイザーに就任。同年、「シヨスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト」を自ら開催し、音楽・企画の両面で大きな成功を収めた。2010年「京都市文化功労者」を受賞。ラ・フォル・ジュルネ金沢を含む多くの実験的企画を敢行し続けている。2014年4月より、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者に就任。

Stage Director : Hideki Noda

## 野田秀樹 (演出)



劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授。東京大学在学中に劇団「夢の遊眠社」を結成、数々の名作を生む。92年、劇団解散後、ロンドンに留学。帰国後の93年に企画製作会社NODA・MAPを設立。以後、『キル』『パンドラの鐘』『赤鬼』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『MIWA』など次々と話題作を発表。海外の俳優と組んでの創作活動や、『野田版 辰磨の討たれ』等、歌舞伎の脚本・演出も手掛けるなど、演劇界の旗手として国内外を問わず、精力的な活動を展開。2015年2月～4月、東京、大阪、北九州、パリで『エッグ』を上演決定。

### 【キャスト】



**【フィガロ】**  
大山 大輔 Daisuke Ohyama

「フィガロの結婚」や「ドン・ジョヴァンニ」等、様々なオペラで主役を演じる若手筆頭バリトン。「オペラ座の怪人」主演の他、演劇作へも出演多数。  
<http://s.ameblo.jp/necoto-operato-xxxx/>



**【スザンナ】**  
小林 沙羅 Sara Kobayashi

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。2010年度野村財団奨学生、2011年度文化庁新進芸術家在外研修員。2014年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2006年「バスティアンとバスティエンス」でデビュー。2012年ソフィア国立歌劇場「ジャンニスキッキ」で欧州デビュー後、海外へも活動の幅を広げている。2014年3月日本コロムビアよりデビューCDアルバム「花のしらべ」をリリース。



**【アルマヴィーヴァ伯爵】**  
ナターレ・デ・カロリス Natalya De Carolis

イタリアを代表するバリトン歌手の一人。ダルトン国際声楽コンクール優勝。モーツァルトとロッシーニの解釈に名高く、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、外ロドリタン歌劇場等で主要役柄を務めている。



**【アルマヴィーヴァ伯爵夫人】**  
テオドラ・ゲオルギュー Teodora Gheorghiu

ウィーンを中心に高い人気を誇る美貌の若手ソプラノ歌手。ベルギーのエリーザベト王妃音楽大学に学び、エリーザベト王妃国際第等多くのコンクールで受賞。2007年ウィーン国立歌劇場と契約、小澤征爾等の名指揮者と共演を行っている。



**【ケルビーノ】**  
マルテン・エンゲルチェス Maarten Engeljcs

カウンターテナーとして16歳でデビュー以来、様々なプロダクションへ参加しており、ドレスデンシュターツカペレ(ユロフスキー指揮)、アムステルダム・コンセルトヘボウ(シュテンツ)、アムステルダム・バロック・オーケストラ(T.コープマン)等と共演。



**【アントニオ】**  
廣川 三憲 Mitsunori Hirokawa

1962年、山口県出身。コメディの中でも、ナンセンス、シリアスな作品を上演するケラリノ・サンドロヴィッチ主宰の劇団「ナイロ100℃」に所属。劇団公演のみならず、外部公演、映像作品と幅広く活動。オペラは今作が初挑戦。



**【バルバリーナ】**  
コロン・エリカ Erika Colon

ベネズエラ生まれ。聖心女子大学卒業後、英国王立音楽院で学ぶ。イギリスを中心に欧州で活動。父E.コロンの作曲「被爆のマリアに捧げる讃歌」を通して平和のメッセージを発信することをライフワークとしている。



**【マルチェリーナ】**  
森山 京子 Kyoko Moriyama

国立音楽大学卒業。94～96年からの2シーズン、ドイツライプツィヒ歌劇場と契約し、2000年にはルーマニア国立劇場「カルメン」のタイトルロールに招かれ成功を収めた。幅広いレパートリーで日本を代表するオペラ歌手として活躍している。藤原歌劇団員。



**【バジリオ】**  
牧川 修一 Shuichi Makikawa

武蔵野音楽大学卒業。二期会創立40周年記念「春琴抄」、同オペラのサヴォンリン音楽祭、60周年記念「トゥーランドット」「蝶々夫人」などの他、新国立劇場等数多くのオペラに出演。長年日本オペラ界の中枢を担っている。二期会会員



**【ドン・バルトロ】**  
森 雅史 Masashi Mori

新国立劇場オペラ研修所第8期生修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学。ボローニャ歌劇場付属オペラ研修所を経てドレスデン歌劇場エンゲス・アンサンブルに在籍。13年「岩城宏之音楽賞」受賞。名古屋音楽大学専任講師。



**【クルツィオ】**  
三浦 大喜 Taiki Miura

国立音楽大学を卒業後、フィレンツェで研鑽を積む。「ルチア」「イル・カンピエロ」「椿姫」「リコロット」「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」等多数のオペラや、各種コンサートに出演。今後ますますの活躍が期待されている。藤原歌劇団員。

### 【管弦楽】

## オーケストラ・アンサンブル金沢

Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、岩城宏之が創設音楽監督を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。金沢駅に隣接する石川県立音楽堂を本拠地とし、定期公演、海外公演など年間約100公演を行う。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス(現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー)制を実施。ジュニアの指導、邦楽との共同制作など育成・普及活動にも積極的に取り組む。メジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。2007年、井上道義を音楽監督に迎え、新たな活動を展開。2008年より「ラ・フォル・ジュルネ金沢」音楽祭の中心的役割を担っている。



### 【合唱】

## 新国立劇場合唱団/フェスティバルホール フィガロ クワイア

### 国境なき医師団

国境なき医師団は、1971年にフランスで創設された非営利の国際的な民間医療・人道援助団体です。世界中の紛争や貧困により危機に瀕した人々への緊急医療援助を主な目的として活動しております。



**MEDECINS SANS FRONTIERES**  
国境なき医師団

